



2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 イフジ産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤井 宗徳
 (コード 2924 東証スタンダード・福証)
問合せ先 常務取締役管理本部長 原 敬
 (TEL. 092-938-4561)

**2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2025 年 5 月 7 日に公表した 2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）の業績予想と本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたことをお知らせいたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2025 年 5 月 7 日付の「2025 年 3 月期決算短信（連結）」で公表した 2026 年 3 月期通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異について

（1）2026 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績値との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）
（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	13,781	1,340	1,339	912	112.13
実 績 値 （ B ）	16,036	1,480	1,499	1,036	127.35
増 減 額 （ B - A ）	2,254	139	159	124	
増 減 率 （ % ）	16.4	10.4	11.9	13.7	
（参考）前期実績（連結） （2025 年 3 月期第 2 四半期）	11,087	1,523	1,534	1,035	125.21

（2）2026 年 3 月期第 2 四半期個別業績予想と実績値との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）
（百万円未満切捨て）

	売上高	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	12,741	1,315	914	112.39
実 績 値 （ B ）	15,035	1,494	1,048	128.77
増 減 額 （ B - A ）	2,293	178	133	
増 減 率 （ % ）	18.0	13.6	14.6	
（参考）前期実績（個別） （2025 年 3 月期第 2 四半期）	10,277	1,539	1,057	127.83

2. 通期業績予想の修正について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,771	2,689	2,679	1,827	224.57
今回修正予想 (B)	30,661	2,689	2,679	1,827	224.57
増減額 (B - A)	2,890	0	0	0	
増減率 (%)	10.4	0.0	0.0	0.0	
(参考) 前期実績 (連結) (2025年3月期)	25,557	2,998	3,049	2,102	254.66

(2) 2026年3月期通期個別業績予想の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,643	2,587	1,798	221.03
今回修正予想 (B)	28,573	2,587	1,798	221.03
増減額 (B - A)	2,930	0	0	
増減率 (%)	11.4	0.0	0.0	
(参考) 前期実績 (個別) (2025年3月期)	23,676	2,980	2,088	253.00

(3) 差異が生じた理由及び修正の理由

当第2四半期（中間期）の業績につきましては、液卵事業において、販売数量が第2四半期（中間期）において過去最高になったことや、鶏卵相場が高値で推移したことに伴い鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も高値で推移したこと、また、鶏卵不足から原料調達コストが大幅に上昇しているために販売単価の改定を行ったこと等により、連結、個別ともに売上高は前回予想を上回りました。また、前述のとおり売上高が予想を上回ったこと等により、損益も連結、個別ともに前回予想を上回りました。この結果、第2四半期（中間期）の業績予想と実績に差異が生じました。

通期の業績予想につきましては、売上高は、液卵事業において販売数量が好調に推移していることや、引き続き鶏卵の需給がタイトなことから鶏卵相場が予想よりも高い水準で推移していること、また、原料調達コストの大幅な上昇に対応すべく販売単価の改定を行っていること等により販売単価が上昇し、連結、個別ともに前回予想を上回る見込みであります。なお、損益予想につきましては、前述のとおり売上高が増加するものの、原料の仕入単価も上昇していることに加え、今後鳥インフルエンザの発生が多くなる季節となり、鶏卵市況の動向を注視する必要があるため、当初予想から修正はしておりません。また、配当予想につきましても当初予想から修正はしておりません。

今後開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上